

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和2年2月5日実施)

|   | 図 書 名 等  | 聴 き 取 り 内 容   |
|---|--|---|
| 1 | <p>DAITO COMICS BLシリーズ<br/>40日間の調教開発生活</p> <p>令和2年1月3日発行</p> | <p>性器表現についてはかなり徹底して消しを入れている。しかしながら暴力、薬物による支配、そのエスカレーションが最終的に好感をもって描かれており、これは人格否定の美化と言わざるを得ない。良識ある大人が読むべきであり、成年コミックとして区分されるべき作品である。指定該当やむなし。</p> <p>コミカルなシーンもあり、純愛物語的要素も含んでいるが、ストーリーとしては拘束、監禁が全般を占めている。道具、器具の使用も多く、アブノーマルなシーンもある。性交シーンは絵に角度をつけることにより、ある程度配慮をしている場面もあるが、性器描写は輪郭がわかる。体液、精液も激しく描写している。指定該当やむなし。</p> <p>タイトル通りの内容で、画力、ストーリー展開はすばらしかった。男性器の消しの甘さも気になるが、「薬物」「拘束」「調教」「おもちゃのオンパレード」全部あわせて青年レベルを超えている。指定やむなし。</p> <p>監禁、薬物の使用といった、違法行為を主軸とした人格否定表現が大部分を占めており、18歳以下の青少年に届けるのは残念ながら不適切と言わざるを得ない。指定該当</p> <p>冒頭ページからいきなり縛られ、肛門にバイブレーターを入れた裸の男性の絵が大きく描かれており、なかなか攻撃的な作品だと感じた。性描写は男性器を白抜きにしているものの、形状が明瞭で、擬音、体液も多い。さまざまな器具を使用しており、器具プレイのオンパレード。ストーリーとしては好きな相手を眠らせて、監禁しながら弄ぶというもので、好きな相手への愛の示し方と読めなくもないが、あまりにも身勝手な愛の示し方。人格否定的表現との評価は免れない。指定該当</p> <p>薬で眠らせ、体を縛り、かつ道具を使用する性描写は人格否定そのものである。性行為の描き方には配慮がほしい。指定やむなし。</p> <p>最終的に双方合意に至る設定ではあるものの、途中段階は明らかに監禁であること。白抜きしているが性器の形がハッキリわかる部分が散見されること。未成年の飲酒や薬物を使用する描写があること。以上の点から指定該当とせざるを得ないと思う。</p> <p>性器の消し方はまあまあできているが、レイプ、監禁ものであり、最初から最後までおもちゃを使った性的行為が露骨に描写されていて卑わいな感じである。指定該当</p> <p>監禁、薬物を使用しているシーンが一部見受けられ、体液描写も多い印象。しかしながら、性器の修整は確実に加えられており、結合部も白抜き修整が施されており、卑猥感はあまり感じない。保留</p> <p>全体を通してストーリーがきちんとあり画力もあり、読みやすい作品である。様々な器具の使用及び性行為はあるものの人格否定までされている印象は受けない。性器の消しもされている。ただ、青少年が読んでいいものかという点は正直判断が難しい。総合的に判断し、保留</p> <p>器具の使用や拘束シーン有り。修整は全消しで配慮がみられる。絵がライトで内容もコミカルな分、性的感情を著しく刺激するというレベルには感じられない。ぎりぎり許容範囲。指定非該当</p> |